



インターネットバンキングにおける不正取引の増加について

令和2年9月中旬以降からインターネットバンキングにおいて、不正送金、不正アクセスによる被害が急増しています。

被害の多くはフィッシングによるものとみられます。具体的には、偽のログインサイトへ誘導し、利用者からID・パスワード情報を不正に入手し、不正送金へと繋がる手口が多数確認されております。

不審なサイトに不用意にID・パスワード等を入力しないようご注意ください。

尚、いずれの事案もワンタイムパスワードの利用で不正送金を防ぐ事が可能でありますので、導入されていない場合はワンタイムパスワードの導入をお願いします。

万が一、記載されているリンクをクリックした場合、詐欺の被害にあったり犯罪に巻き込まれることとなりますので、ご注意願います。